

・関山 消息絶ゆ

- ・唯、地の乖限せらるるのみに非ず
- ・天の惨烈なるに遭ひ逢ふ
- ・惘黙して眠ること能はず
- ・紛紛たり 専夜の雪
- ・近く 白屋の埋もるるを見る
- ・遙かに 碧鮮の折らるるを知る
- ・家僕は早く逃散す
- ・寒さを凌ぎて誰か掃撤せん
- ・直を抱きて自ら低迷す
- ・貞を含みて空しく破裂す
- ・長き者は漁竿に好かりしに
- ・悔ゆらくは早く裁ち截らざりしことを
- ・短き者は書簡に宜かりしに
- ・妬まらくは先づ編列せざりしことを
- ・簡を提げ、且つ竿を垂るれば
- ・吾が生、以て悦しむるに堪へん
- ・千万言ふとも 效なからん